

大学生ワークショップの結果について

1 実施内容 本県の現状について説明を受けた後、グループに分かれワークショップを行い、テーマに対する意見をとりまとめた。

2 テーマ

- (1) 「自分が思う福島の“たからもの”」
- (2) 「みんなの力で解決したいこと」
- (3) 「福島の未来をつくるために大学生の私たちができること・すべきこと」

3 実施日

(1) 郡山会場

日 時：令和2年1月11日（土） 13時～16時30分

会 場：郡山女子大学

参加者：8名

(2) 福島会場

日 時：令和2年1月15日（水） 13時～16時30分

会 場：国立大学法人福島大学

参加者：25名

(3) いわき会場

日 時：令和2年1月22日（水） 13時～16時30分

会 場：東日本国際大学

参加者：21名

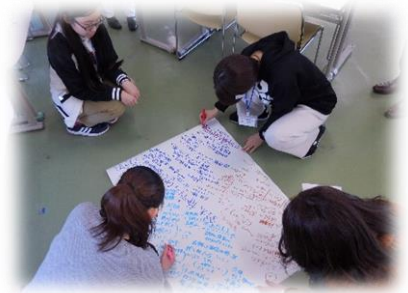
4 内容（主な意見）

(1) テーマ「自分が思う福島の“たからもの”」

- ・日本最大級のロボットテストフィールド
- ・人や方言の温かさ、土地柄と人、助け合いの精神、元気な高齢者
- ・観光施設等（温泉、アクアマリン、ハワイアنز、鶴ヶ城等）
- ・浜・中・会津の多様な人々・文化
- ・特産品（果物、日本酒、米、郷土料理）
- ・元気な高齢者
- ・技術力のある県内企業、工業生産・技術力
- ・豊かな自然（四季ごとの景色）
- ・歴史、文化、芸術（合唱、吹奏楽、演劇等）

(2) テーマ「みんなの力で解決したいこと」

- ・情報発信不足
- ・震災復興、風評払拭
- ・交通アクセスの改善、充実



- ・若者が惹かれる施設や環境
- ・地域間のつながり、交流
- ・歴史的な街並みの保護
- ・健康づくり（減塩取組等）
- ・学べる施設（大学等）の誘致
- ・第一次産業の活性化
- ・バリアフリーの推進
- ・過疎地域の対策（限界集落対策、高齢者移動手段、医療、買い物）
- ・若者の人口流出抑制、地域の担い手不足解消



(3) テーマ「福島の未来をつくるために大学生の私たちが
できること・すべきこと」

- ・自分たちが地域への理解を深め魅力を情報発信
- ・子どもに向けた地域愛着形成の活動
- ・高齢者のケア、若者の集落での活動
- ・大学生目線による地元愛着を育むイベント開催
- ・県内大学生同士が魅力を発信するコミュニティを立ち上げる
- ・地域の担い手不足を補うボランティア活動

5 主な発言

- ・住んでいる人が住んでいてよかったと思える県
- ・自分の夢を語り合いかなえたいと思う県
- ・生活に生きがいを感じられる県
- ・高齢者も若者も過ごしやすい県
- ・産業も観光も人々も活力
- ・今ある資源を最大限活用
- ・浜・中・会津の特徴ある地域特性
- ・一人一人が楽しく誇りをもって生活できる県
- ・人々に活気があり様々な活動にチャレンジができる県
- ・地域とのつながりを大切に感じて生活できる県
- ・集落や伝統、暮らしを維持することが県民の幸せ
- ・お年寄りも現役のように活動する県
- ・優れた技術を持った企業が活発に活動する技術立県
- ・子どもが笑顔で明るく成長できる県
- ・ふるさとのありがたさ、出会いの大切さはだから
- ・若者がわくわくしキラキラと輝いている県
- ・地域に関わって感じる人の温かさ



など